



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第110号 R6. 2. 1

## 令和5年度 豊能町児童会・生徒会交流会 —オンライン開催—

1月24日の放課後、町内各小中学校児童会・生徒会の代表者による「児童会・生徒会交流会」が、オンライン（ZOOM）で開催されました。

はじめに、それぞれの学校が「児童会・生徒会活動の紹介」をしました。画用紙やパワーポイントを使用しながら、各校の取り組みをわかりやすく説明してくれました。また、吉川中学校の生徒会は11月に行われた大阪府中学校生徒会サミットの報告もしました。

その後、「楽しい学校生活に向けて、児童会・生徒会として取り組みたいこと」をテーマに、小学生と中学生で交流しました。最初は緊張して意見を発表するのに躊躇していた場面も見られましたが、司会を務めた中学生が小学生にも質問を投げかけ、とても和やかに交流が行われました。小中学生が一緒にできる取り組みはないかと考えていると、小学生と中学生が交流する機会をつくったり、能登半島地震義援金の募金をやってみたりしたいという声がありました。

交流会で話したことをいかして、各学校で児童会・生徒会が中心になって様々なことに取り組んでほしいです。豊能町の子どもたちが交流できる機会をこれからも大事にしていきたいと思えます。



オンライン上の参加者の皆さん

## 豊能町に馴染んできました～新 ALT の先生方～

令和5年（2023年）8月に新しく ALT（外国語指導助手）の Abigail Joyce Sabayo Requilman（アビゲイル ジョイス サバヨ レキルマン）さんと Kasey Louise Miller（ケシリス ミーラ）さんが、豊能町に赴任されました。

### 授業の様子を紹介します！

アビゲイル（アビー）さんは、日本語を使わず、小学校1年生の授業を行っていました。担任の先生と一緒に元気よくABCの歌を歌ったり、楽しい英語のゲームをしたりと、あっという間に時間が過ぎていきました。

ケシさんは、英語科教員と一緒に中学生に英会話のモデルを示していました。子どもたちは、一生懸命に英語を聞き取ろうとして、集中して授業を受けていました。

学校の授業だけでなく、11月12日に開催された町立図書館での英語の絵本の読み聞かせにもご協力いただきました。



「この花は何色？」と問いかけるアビーさん。



中学校英語科教員と英会話のデモンストレーションをするケシさん。



## 令和5年度 豊能町教育委員会研究指定「保幼小連携実践（体育・運動遊び）」～幼稚園から小学校への児童のよりよい体づくりカリキュラムをめざして～

町の研究指定を受け、光風台小学校とひかり幼稚園が保幼小連携の実践を進めています。「よりよい体づくりカリキュラムの作成」をテーマに、幼稚園で取り組んでいる運動遊びと小学校の体育カリキュラムを互いに知ることからスタートしました。そこから、幼稚園の運動遊びの経験を、どう小学校の授業に活かしていくのか等を検討・実施・改善しています。カリキュラム作りや授業づくりには、コスモスポーツクラブの高木卓也氏に助言をいただき、よりよい体づくりカリキュラムの作成や授業づくりに努めています。

1月22日の合同授業では、まず幼稚園で実施しているリズム体操を1年生も行いました。その後、ボール運動を行いました。園児と小学生の混合チームでボールを体の右側から後ろの人に向けて手渡しをし、逆に後ろの人からもらうときは左側からもらうというグループ対抗のボール渡しのリレー競争を行いました。普段行うことの少ない体の回転動作を意識的にすることによってバランス感覚を身につけることが目的でした。次に、頭の上で次の人にボールを渡したり、両脚の間で後ろからボールを受け取ったりするリレーを行いました。最後は、お盆に置いたボールを落さないように運ぶリレーでした。バランスを保ちながら走る難しい運動でしたが、幼稚園児も小学生もボールを落とさないように集中して取り組んでいました。

幼少期からのバランス感覚を意識した運動の大切さを改めて認識しました。5歳児と1年生の合同授業の実施は、カリキュラム作成だけでなく、保幼小の交流の時間としても大変有意義なものになっています。



準備体操でカメのポーズ



幼稚園児・小学生混合チームで頭の上でボール渡し



股の下からボール渡し



お盆に乗せたボール運びリレー